

事業番号0418											
平成29年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	石綿による健康障害防止対策の推進				担当部局庁	労働基準局安全衛生部			作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	化学物質対策課			奥村 伸人		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号				関係する計画、 通知等	第12次労働災害防止計画、「アスベスト対策に関する行政 評価・監視 ー飛散・ばく露防止対策を中心としてー結果に 基づく勧告>」					
主要政策・施策	ー				主要経費	社会保障					
事業の目的 （目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内）	建築物等の解体等の作業に従事する労働者の石綿のばく露による健康被害を生じさせないよう、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。）や「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」（平成26年3月公示。以下「技術指針」という。）に基づき、当該作業に係る適切な石綿ばく露防止対策の履行確保を図る。										
事業概要 （5行程度以内。 別添可）	①東日本大震災被災地の建築物の解体現場等において石綿気中濃度測定を行い、その結果の検証を通じて石綿ばく露防止対策の内容の充実を図る。 ②熊本震災被災地の建築物の解体現場等において石綿気中濃度測定を行い、その結果の検証を通じて石綿ばく露防止対策の内容の充実を図る。（平成29年度限り） ③石綿則、技術指針による石綿ばく露防止措置の実施の徹底を図るため、マニュアルの整備、解体工事業者や分析機関に対する周知啓発（講演会開催等）を行う。										
実施方法	直接実施、委託・請負										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	108	120	121	137	165				
		補正予算	ー	ー	ー	ー					
		前年度から繰越し	ー	ー	ー	ー					
		翌年度へ繰越し	ー	ー	ー	ー					
		予備費等	ー	ー	ー	ー					
	計		108	120	121	137	165				
	執行額		107	95	126						
	執行率（％）		99%	79%	104%						
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		99%	79%	104%							
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	庁費		69	69	講習会の開催回数の増						
	労働災害防止対策事業委託費		51	79							
	職員旅費		13	13							
	諸謝金		3	3							
	委員等旅費		1	1							
	計		137	165							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 ー 年度	目標最終年度 29 年度
	東日本大震災の被災地等における建築物解体現場やがれき集積場の石綿気中濃度測定を実施した箇所のうち、高濃度の石綿漏洩等を生じさせた作業場の件数を測定箇所総数の1割未満とする。		東日本大震災の被災地等における建築物解体現場やがれき集積場の石綿気中濃度測定を実施した箇所のうち、高濃度の石綿漏洩等を生じさせた作業場の件数の割合		成果実績	％	6	5	0	ー	ー
					目標値	％	10	10	10	ー	10
					達成度	％	167	200	99,999,999	ー	ー
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課が委託事業実施者の報告書をもとに集計										
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	東日本大震災の被災地等における建築物解体現場やがれき集積場の石綿気中濃度測定を行う。			活動実績	箇所	18	19	47	ー		
当初見込み				箇所	34	19	19	49	15		

単位当たりコスト			算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
			単位当たりコスト X=石綿気中濃度測定に係る事業費 Y=測定地点数			円/測定対象	312,824	255,789	466,689	297,387	
			計算式			X / Y	10,636,000/34	4,860,000/19	21,934,368/47	14,572,000/49	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標2 労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること									
		施策	労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること(施策目標Ⅲ－2－1)									
		測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度	
			1. 労働災害による死者数(年)		実績値	人	1,057	972	928	－	－	
					目標値	人	－	－	－	－	929	
			定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度	
			2. 労働災害による死傷者数(休業4日以上)(年)		実績値	人	119,535	116,311	117,910	－	－	
					目標値	人	－	－	－	－	101,639	
			定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)				
			－		－		－	－				
								施策の進捗状況(実績)				
								－				
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
		建築物等の解体等の作業に従事する労働者の石綿のばく露による健康被害を生じさせないよう、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。)や「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」(平成26年3月公示。以下「技術指針」という。)に基づき、当該作業に係る適切な石綿ばく露防止対策の履行確保を図ることから、測定指標1, 2に寄与するものである。										

経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	－							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
		－		成果実績	－	－	－	－	－	－
				目標値	－	－	－	－	－	－
				達成度	%	－	－	－	－	－
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
		－		成果実績	－	－	－	－	－	－
				目標値	－	－	－	－	－	－
				達成度	%	－	－	－	－	－
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
	－									

事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項 目				評 価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	石綿による健康障害の防止は、社会的な大きな関心事項であり、広く国民のニーズがある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は、石綿障害予防規則の適切な履行確保を図るものであり、国が実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	労働者の石綿ばく露防止対策は、厚生労働省が重点施策として掲げる課題の一つであり、本事業はその具体的な取組の一つとして優先度の高い事業に位置づけられている。			

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	一般競争入札(最低価格落札方式)により委託先を決定している。なお、建築物の解体時の石綿漏洩防止対策等に係る周知啓発事業は一者応札であったが、落札率は6割を下回った。また、あらかじめ、平成27年度の受託者に、平成28年度は応札しなかった理由等をヒアリングし、本年度は応札見込みの手応えを得ていたが、結局、当該業者の応札には至らなかった。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	労働現場における労働者の石綿ばく露防止対策のための検討、現場測定等を行うものであり、事業者及び労働者双方に有益なものであるところ、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出しており、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	被災地での測定等の費用については、標準的な積算とするとともに、実際の契約は入札により行うことでコストの削減を図っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	使途は、専門家の謝金や旅費、検討会の運営費、現場での測定に係る労務費・資機材費等、事業の運営に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札差額によるもの。	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は成果目標を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業のうち委託部分及び直接実施分の双方について、専門性を有する者により実施することとしており、実効性は高い。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	東日本大震災被災地での測定(活動実績)は、見込みと同程度である。なお、補正予算により平成28年熊本地震への対応を行ったため、活動実績は全体としては大幅に見込みを上回った。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業の成果は、今後の作業現場における石綿ばく露防止対策のための事業場の指導等に活用していくこととしており、平成25年度末には本事業の成果も踏まえ、石綿障害予防規則等の改正を実施している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	左記の事業は、労働現場における石綿ばく露防止を目的としている点は本事業と同じであるが、左記の事業が、事業者からの届出・申請等の審査をする相談員等の配置を行うものであるのに対して、本事業は、講習会等により規則改正等の内容を対象事業者に対して周知・指導するものであり、事業内容に重複はない。	
	所管府省名	事業番号			事業名
	厚生労働省	0400			石綿障害防止総合相談員等設置経費
点検・改善結果	点検結果	毎年度成果目標は達成した上で、達成率は向上傾向にある。また、活動指標は当初予算部分は見込みと同程度であり、補正予算分をあわせると見込みを大幅に上回るなど、適切に実施できているものとする。石綿含有建築物等の解体等の作業が今後も全国的に増加していくことが見込まれる中、労働者の石綿ばく露防止のための取組については、引き続き広く国民のニーズが存在しており、目標の達成状況からも、本事業は平成26年に改正された石綿障害予防規則及び技術指針について効果的に周知を行い、有効に運営できているものと評価できる。			
	改善の方向性	事業の目標は達成できているが、予算の執行率は低い水準であるため、予定価格と差の大きい事業について実績を踏まえて積算を見直す等を検討する。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部の事業内容改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	平成28年度事業の執行状況及び平成29年度事業の入札結果を踏まえ、一部の単価について縮減を図ったが、講習会の開催回数の増により、増要求となった。				
備考					
-					

関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新25-0037	
平成25年度	新25-023	平成26年度	415	平成27年度	420	
平成28年度	414					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	【行政経費】 厚生労働省 (126百万円) → A. 事務費 (77.8百万円) 〔 事業管理・受託者への指導 〕 〔 作業現場での石綿気中濃度測定、事業場指導 〕 建築物の解体時の石綿漏洩防止対策等に係る周知啓発事業 【一般競争契約(最低価格)】 B. 日本水処理工業株式会社 (28.9百万円) 〔 石綿含有建築物の解体工事方法の周知啓発 〕 東日本大震災がれき処理作業時における石綿気中濃度モニタリング事業 C. 東北緑化環境保全株式会社 (4.1百万円) 〔 東日本大震災被災地での石綿気中濃度の測定 〕 熊本地震がれき処理作業等における石綿気中濃度モニタリング事業 D. 株式会社環境管理センター (14.8百万円) 〔 熊本地震被災地での石綿気中濃度の測定 〕					
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.事務費			B.日本水処理工業株式会社		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	庁費	役務・物品の購入等	66.7	事業費	謝金、旅費 等	23.5
	職員旅費	職員の出張等に係る旅費	7.9	管理諸経費	印刷費、株式会社大塚ビジネスサービスへの再委託 等	3.2
	諸謝金	専門家への謝金	2.6	消費税	消費税	2.1
	委員等旅費	専門家への旅費	0.6			
	計		77.8	計		28.9
	C.東北緑化環境保全株式会社			D.株式会社環境管理センター		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	旅費 等	3.4	事業費	旅費 等	13.7
	管理費	通信運搬費 等	0.4	消費税	消費税	1.1
	消費税	消費税	0.3			
	計		4.1	計		14.8

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	庁費	-	役務・物品の購入等	66.7	その他	-	-	-
2	職員旅費	-	職員の出張等に係る旅費	7.9	その他	-	-	-
3	諸謝金	-	専門家への謝金	2.6	その他	-	-	-
4	委員等旅費	-	専門家への旅費	0.6	その他	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本水処理工業株式会社	2120001073007	石綿含有建築物の解体工事方法の周知啓発	28.9	一般競争契約 (最低価格)	1	96.6%	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北緑化環境保全株式会社	6370001011342	東日本大震災被災地での石綿気中濃度の測定	4.1	一般競争契約 (最低価格)	3	53.9%	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社環境管理センター	7013401000164	熊本地震被災地での石綿気中濃度の測定	14.8	一般競争契約 (最低価格)	3	98.8%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-